

## 【第2次小平市子ども読書活動推進計画】平成24年度進捗状況

### 1. 家庭における読書活動の推進

#### 児童課

市内の児童館で「絵本のへや」、「かみしばい」を実施するとともに、毎年、図書館案内を掲載した「子育てガイド」を10,000部発行して配布しています。

#### 健康課

3～4か月児健診では、図書館コーナーを作り、受診者1,500人余りを対象に、待ち時間を利用して図書館職員がロビーで絵本の読み聞かせを実演したり、月に1回図書館で実施している「絵本のへや」の案内などを行っています。

また、読み聞かせにおすすめの絵本リストや図書館案内等を配布し、図書館利用につなげています。

今後も保護者の関心の高い絵本の読み聞かせなどについて情報提供を進めていきます。

#### 公民館

「家庭教育講座」では、本との出会い・楽しみを取り入れた内容での実施を行っています。24年度は、花小金井北公民館において、家庭教育講座「育児の不安を解消、病気から遊びまで」の中で「絵本の世界はワンダーランド」と題して実施しました。

今後も読書を通じて図書館と公民館との協力連携を図っていきます。

#### 図書館

幼い時から本に親しむ機会の提供として、2、3歳児と保護者を対象に絵本の読み聞かせや手遊びなどを行う「絵本のへや」を平成5年度から始め、全図書館で実施しています。平成24年度も「おはなし会」、「児童文学講演会」、図書の展示、ブックリストの配布など子どもの読書への理解を深め、家庭における読書活動につながる多くの取組みを実施しました。

また、都立図書館の行事パンフレットの配布等も行い、子ども読書推進に関わる事業の紹介を行いました。

### 2. 学校における読書活動の推進

第2次計画では、学校図書館の充実と学校図書館と市立図書館との連携推進に重点においています。

学校図書館協力員の全校配置により、学校図書館の整備は急速に進みました。休み時間

に本を借りに来るだけでなく、本を読みながら居場所として落ち着く図書室が徐々に作られています。貸出冊数も年々増えています。

## 指導課

市内全小学校、中学校8校のうち7校に1名以上の司書教諭を配置しました。残り1校については、26年度の異動の際に配置を行う予定です。

今後、司書教諭を中心にした各教科の学習の展開と読書活動推進のための取組を充実させていきます。

司書教諭等連絡協議会は、司書教諭、図書担当教諭、学校図書館協力員、学校図書館相談員、図書館職員が参加し、学校図書館での読書活動の様々な取組に関する有意義な情報交換の場として活用されました。

また、年間読書計画・読書推進計画等の作成を行い、学校図書館との連絡会等を通じ、計画に沿った学校図書館の活用を推進しました。その中の取組みとして、小平市内のほとんどの学校で全校一斉の読書活動を行ったり、秋には読書週間などを学校全体で設けています。

各学級においては、学級文庫の設置、朝読書等の読書活動の実施、教諭や保護者による読み聞かせ等の実施、「夏休みおすすめ本リスト」や調べ学習用図書の配送システムの活用など公立図書館との連携も積極的に行いました。朝読書は、子どもたちの授業への集中力の面で効果的な結果が出ています。

また、読書指南役の役割等について協議を行いました。「第二次東京都子ども読書活動推進計画」のモデル事業の動向を見ながら引き続き研究を進めていきます。

特別な支援を必要とする児童・生徒の読書活動の推進にも力を入れました。それぞれの生徒たちの障害に応じたプログラムの開発を行いました。

児童一人一人の読書状況に応じた取組は、学校図書館の利用指導の中で行われました。

## 学務課

国の「学校図書館図書標準」従って、学習課題に応じた蔵書計画により、「読書センター」の役割を果たす基礎的な図書の購入を、それぞれの学校の方針に従って行いました。(小学校10,485冊、中学校3,892冊)その結果、昨年度よりも達成率が上昇しました。(小学校は6%上昇の平均104%)

また、全国学校図書館協議会で作成している「廃棄基準」をもとにした蔵書整備を行った。今後も学校図書の充実に努めていきます。

また、市立図書館とともに学校図書館システムの整備を行いました。

## 生涯学習推進課

ボランティアによる放課後子ども教室での読み聞かせや紙芝居等を実施しています。

学校援ボランティアに対し、18校で24講座の養成講座や研修・交流会を実施するなど、活動の支援に力を入れています。また、市立図書館員を講師として図書修理、読み聞かせなどの学校支援ボランティア講座も実施しました。

学校図書館協力員に加えボランティアの手が入った学校図書館の整備はますます進み、季節の飾り付けがされた学校図書館では、児童・生徒が温かい雰囲気の中で読書しています。

### 学校図書館

図書室だよりなど各学校で図書の展示や読書に関する取組が紹介されました。児童・生徒による図書委員会活動も活発に実施され、図書の貸出や「図書だより」の発行などの広報活動も行われました。

図書館では、年に8回程度、学校図書館協力員への研修を実施しており、協力員同士の情報交換の場を作るとともに、学校図書館システムの研修、マニュアル作成により支援しました。

小・中学校の全蔵書がデータベース化され、学校図書館システムを活用して貸出・返却・蔵書点検などを行い、学校図書館の活用が図られました。本の簡単な貸出手続きにより貸出冊数の増加につながっています。

学校間の相互利用については、学校同士、同時期に使用する図書が重なるなどの問題も生じることが予測されることから、実施について課題がありますが、引き続き検討していきます。

また、学校図書館配送システムの活用により、特別団体貸出（調べ学習用図書の貸出）を行っています。24年度は小学校18校7,695冊、中学校4校へ336冊を貸出ししました。

学級における取組では、学級文庫の絵本や読み物が児童に活用されました。朝読書は、授業への集中力を上げ、授業によい影響を与えているようです。また、教諭や保護者による読み聞かせ等の実施、「夏休みおすすめ本リスト」の活用など、それぞれの学校に合った取組により、子どもたちの読書状況を把握し、推進につなげています。

地域資料については、こげらネットで「わたしたちの小平市」を公開しています。小学校では引き続き玉川上水や伝統工芸等、中学校では都内見学や近隣市の文化などの学習に図書館の地域資料を活用していきます。

### 3. 図書館における読書活動の推進

子どもたちにとって魅力ある蔵書の充実に努めました。

破損しやすい児童書に関しては、子どもたちが気持ちよく本を手にとれるよう常に目を配り、魅力ある蔵書に努めていきます。

資料情報の提供としては、テーマ別展示を行ったり、図書館ホームページでは夏休みおすすめ本リストの作成と別置コーナーの設置、地域レファレンス事例等の掲載を行いました。

乳幼児サービスの充実に向けては、「絵本のへや」を実施するとともに、3～4か月児健診に出向き、読み聞かせの実演や行事の紹介などを行い、図書館利用の促進を図りました。

平日に実施しているおはなし会に参加しにくい児童に向けては「夜のおはなし会」や「父の日スペシャル」を実施し、親子でおはなし会を楽しむ機会を提供しています。今後も、実施の時間や曜日を工夫して、幅広い年齢の子どもたちやその保護者たちが利用できる機会を増やすよう努めていきます。

各館のティーンズコーナーには、一般書と児童書からティーンズ用に選んだ図書を排架しており、職業の本などがよく利用されました。

図書館ボランティア体験講座は、小学生から大学生までの幅広い年代を対象に実施し、朝の排架、ポスター作りやおはなし会の誘導などを通じて図書館への理解を深める夏休みの行事として定着してきました。

児童図書に関する講演会や講座は、子ども文庫連絡協議会と共催して昨年引き続き実施しています。

児童を対象とした「子ども科学講演会」も、引き続き開催しました。

小川西町図書館では、布の絵本・点訳絵本をボランティアに依頼して作成しています。

中央図書館ではイベント「布の絵本であそぼう」を、小川西町図書館では幼児コーナーに展示して自由に遊べるようにするなど紹介に努めました。

外国語絵本については、展示コーナーでのテーマ別展示などを通じて紹介に努めるとともに貸出を行いました。

学校図書館との連携は、図書館相談員による学校図書館への巡回、相談などに併せ、授業支援のためのリスト作成や相談員だよりの発行など新たな支援に取り組みました。

学校図書館協力員への支援を図るため、学校図書館システムの操作、図書修理、読み聞かせやブックトークの習得など図書館活動に活かせる研修を実施しました。今後も引き続き協力員への支援を行っていきます。

図書館見学、職場体験、インターンシップ等の受け入れを実施しました。図書館の仕組みを知ってもらうとともにキャリア教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供していきます。学校からも図書館での職場体験は、職業選択や仕事への

意識向上につながっているという評価をもらっています。

都立特別支援学校へは、福祉講演会のチラシやポスターを持参し、連携を図りましたが、今後も図書館で行う行事の周知を行っていきます。都立図書館・国際子ども図書館との連携では、行事に関するポスター掲示、パンフレットの配布を行い広報に努めました。

おはなし学習会、ブックトークの研修などの館内研修に加え、都立図書館のレファレンスや製本研修、見学会、司書資格取得講習へ職員を派遣し、技術の取得と資質の向上を図り、利用者への援助やボランティアへの研修等に活かすことができました。

調べ学習や教科の学習を支援するための図書の貸出しを、学校図書館図書配送便にて行っています。

仲町図書館の建替えについては、改築工事及び解体工事の契約を締結し、工事に着手しました。仲町図書館を活用した学校支援の取組については、連携内容を充実させるための方策を検討していきます。

児童担当職員の研修にも力を入れています。

館内での定期的なおはなし学習会、ブックトーク研修、都立図書館での専門研修など、児童サービス向上のための職員養成には力を入れています。

なお、平成24年度は、市制施行50周年記念として、小平の特性をテーマに市立図書館を利用した調べ学習作品を募集、応募作品の中から優秀作品を表彰する「調べて学ぼう！こだいらっこコンクール」を開催しました。

#### 4 地域における読書活動の推進

##### 保育課

保育園で、ボランティアによる「おはなし会」を実施したり保護者への本の紹介を行いました。

##### 児童課

児童館での児童図書の充実に努め、「おはなしのじかん」「かみしばいのひ」「絵本のへや」などの行事を実施しました。

学童クラブ、青少年センター、子ども家庭支援センター、地域センターにおいても、図書コーナーの充実に努めています。

##### 生涯学習推進課

小学校の放課後子ども教室における紙芝居、読み聞かせ等の実施を行っており、今後

も拡大に努めていきます。

## 図書館

市内の幼稚園からの依頼による図書館見学や、市のデリバリー講座依頼によるブックトークの実施を行いました。今後も、市内幼稚園からの要望には応えていきます。

また、子ども文庫活動支援や連携は継続して行っています。補助金の交付、共催の児童文学講演会やおはなし会等、引き続き実施していきます。

## 5 地域の力を生かした読書活動の推進

小平地域教育サポート・ネット事業により、図書館職員が講師を務め、読み聞かせや図書の修理などの学校図書館ボランティア養成講座を実施しました。学校図書館の図書が整備され、子どもたちに修理されたきれいな本が提供されています。

## 生涯学習推進課

小・中学校の図書館ボランティアを対象に研修・交流会を前年に引き続き2回実施し、情報交換を行いました。学校支援ボランティアに対しても、講座の実施を行いました。

## 図書館

幼稚園や小学校などで読み聞かせをする方を対象に、絵本の選び方や読み方などを図書館職員がアドバイスする「読み聞かせ実践講座」を実施しました。参加しやすいように保育付きの講座となっています。参加希望者が多く、今後も継続していきます。

## 6 読書推進体制の整備

第2次計画の進捗状況について関連各課を対象に調査を行い、子ども読書活動推進計画検討委員会で実施状況について検討を行いました。

第2次計画では、第1次計画の中で実施が始まった学校図書館協力員の配置や学校図書館への配送便の継続を通じて、学校図書館の充実と図書館との連携推進事業をさらに推進させることができました。

## 7 啓発・広報

4月23日の「子ども読書の日」に関わる行事として「こだいら子ども読書月間」を市内すべての図書館で実施し、子どもの本の展示などを行いました。中央図書館では、「拡大写本の会ひまわり」メンバーによる布の絵本や遊具で遊ぶ会が開かれ、多くの子どもや保護

者でにぎわいました。

図書館ホームページでは、「こどもとしょかん」「夏休みおすすめ本」「こどもきょうどしりょう」などの情報発信に努めるとともに、図書館だよりの「こだいラッコ!」のページからは、子どもの本や児童サービスに関する情報提供、学校図書館の紹介に努めました。平成23年度から開始している図書館メールマガジンでは、児童サービスに関する行事案内などを配信しています。

図書館では、児童向けの図書館案内や絵本リストを作成し、カウンターや図書館見学などで配布しています。今後も子ども向けの行事や各種のブックリストの作成などを通じて児童サービスの啓発に努め、子どもの読書活動の推進につなげていきます。